

ほくたん^{だよ}便り

(お知らせ版)

2012(平成24年)5月発行

■ 編集/発行 : 北但行政事務組合

■ 組合構成市町 : 豊岡市・香美町・新温泉町

平成28年度稼働に向け、 北但ごみ処理施設整備事業を進めています！



▲着々と進む進入道路工事

北但ごみ処理施設整備事業について、よくある質問にお答えします

1. 広域化(1市2町で共同処理)の目的

◆ なぜ1市2町で1つの施設を建設するのですか？

◇ 目的は、大きく分けて次の3点です

(1) ダイオキシン類の発生を抑制することができます

ダイオキシン類は、約300度付近で最も発生しやすいといわれています。8時間運転の施設では、毎日、朝夕の焼却炉の立ち上げ、立ち下げの時にこの温度域を通過します。

8時間運転の施設でも環境基準を満たしていますが、新施設では、850度以上での24時間連続運転によりダイオキシンの発生そのものを抑制しますから、環境対策としてより優れたものになります。

現在の施設 — 豊岡市 24時間運転、 香美町・新温泉町 8時間運転

(2) 焼却熱をより有効に利用することができます

東日本大震災以降、厳しい電力需要のなかで代替発電施設として、ごみ焼却施設への期待が高まっています。広域化により、熱の有効利用ができ、発電が可能になります。計算上、新施設での年間発電量は、一般家庭約5,000世帯の消費電力に相当します。

(3) 住民負担を約 38 億円減らすことができます

1 市 2 町が共同して施設を 1 箇所を整備することにより建設費や運営費を抑えることができます。

一方、施設が遠方になる地域では、収集運搬費が増加しますが、試算ベースで、これらを差し引きて、住民負担を 20 年間で約 38 億円減らすことができます。逆に、1 市 2 町が個別に整備すれば、住民負担が大幅に増えることとなります。

住民負担の試算

・建設費	4億7千万円	縮減	トータルで*約 38 億円の縮減 ※ 縮減額が豊岡市・香美町・新温泉町に公平に還元されるよう負担金割合を定めています。
・収集運搬費	12億5千万円	増加	
・運営費	46億1千万円	縮減	

なお、広域化は、合併前(平成 16 年)の北但 1 市 10 町の全ての議会の議決を経て、北但行政事務組合が事業を担当することとなり、事業を進めています。

◆ 今ある施設を補修して、今後もずっと使い続けることはできないのですか？

◇ できません

ごみ処理施設の焼却炉は 850 度前後という高温で運転されており、徐々に劣化が進んでいきます。

1 市 2 町の現在の 3 施設について、平成 16 年度に精密機能検査を行った結果、3 施設とも平成 25 年頃に耐用年数を迎えると想定されています。

いずれの施設でも維持補修に努めていますが、補修・修理にも限界があり、補修に要するコストは莫大なものになっています。

毎日発生するごみの処理を続けながら大規模な延命改修を行うことは不可能です。

- ・豊岡清掃センター(豊岡市)…平成 2 年稼働
- ・矢田川レインポー(香美町)…平成 6 年稼働
- ・新温泉町クリーンセンター(新温泉町)…平成 4 年稼働

◆ 施設の建設地はどのように決まったのですか？

◇ 候補地選定委員会が選定し、組合正副管理者(市町長)会が決定しました

平成 20 年 4 月 23 日、第 11 回候補地選定委員会が開催され、「森本・坊岡区(豊岡市竹野町)」が候補地として選定されました。

委員会の報告を受けた後、組合正副管理者会を開催し、委員会の報告どおり「森本・坊岡区」を候補地として決定しました。

平成 20 年 12 月 2 日には、両区と組合の 3 者で、施設整備にあたっての基本協定を締結し、今日まで、着実に事業を進めています。

◆ 処理方式はどのように決まったのですか？

◇ 5 つの処理方式を比較検討し、焼却処理に決定しました

平成 18 年度に「整備方針検討委員会」において、焼却処理、メタン発酵、炭化、飼料化、たい肥化の 5 つの方式について比較検討願い、平成 19 年 2 月の第 43 回議員協議会において協議いただいた後に、焼却処理が基本方針全般にわたり優れていると考えられ、特に「確実・安全・安定的な処理」、「資源化」、「経済性」の面で他方式より優れているとして、焼却処理に決定しました。

◆ 新施設の規模は？

◇ 現在の3施設の合計より、小さな規模になります

現在の3施設の合計規模は、198 t/日ですが、新施設は、174 t/日と、現状より24 t/日小さな規模になります。

また、汚泥も混焼しますので、汚泥分を差引いた、ごみ分だけの規模では157 t/日となり、実質41 t/日の減少となります。

ごみ処理施設の焼却炉は850度以上という高温で運転するため、点検・維持補修が必要です。

定期点検中も休まず稼働する必要があるため、焼却炉は2炉（87 t/日×2）構成で整備し、片方の炉が休止中でもごみ処理できるようにします。

2. 施設整備用地の考え方

◆ 用地買収の範囲（面積）が大きくありませんか？

◇ 周辺環境をしっかりと保全・再生するため周辺山林も買収しました

施設建設には施設本体の敷地、防災調整池、進入道路、及びこれらを造成する際に作る、人工的な斜面（法面）等の用地が必要です。

さらに、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第9条の4の規定により、一般廃棄物処理施設に係る周辺地域の生活環境の保全及び増進を図るよう求められています。

また、事業地周辺は、兵庫県の「緑豊かな地域環境の形成に関する条例」及び森林法により森林の保全、緑地の確保が求められています。

組合では、循環型社会の実現にふさわしい先進的な施設整備を進め、周辺環境の保全を基調とした整備を図るため、買収範囲を木谷川南側から山の尾根までの約36.6haとしました。



▲完成イメージパース

3. 新施設の概要

■ 施設概要

区分	処理能力	内 訳
熱回収施設	174 t/日 (87 t/日×2炉)	・可燃ごみ・可燃残渣分…157 t/日 ・汚泥分…17 t/日
リサイクルセンター	37 t/日	・不燃ごみ・粗大ごみの破碎・選別… 20 t/日 ・かん・びん等資源ごみの選別・保管… 17 t/日

■ 新施設の排ガス基準

排ガスは、国が法で定める基準より、さらに厳しい自主基準値を設定し、それを満たす安全・安心な施設を整備します。

【排出基準値一覧表】

項目	規制基準値	新施設自主基準値
ばいじん (g/m ³ N)	0.08	0.01
硫黄酸化物 (ppm)	※約3,400	30
塩化水素 (ppm)	430	50
窒素酸化物 (ppm)	250	50
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	1	0.05

※ 法規制値はK値:17.5 であり、条件を有効煙突高 59m、排ガス量を 5,000 m³N/t/hとした場合、約 3,400ppm の値に相当します。

■ 供用開始 平成 28 年 4 月 (予定)

■ 事業方式 PFI的手法を用いた*公設民営方式 (DBO方式)

新施設の運営には、50人程度必要であり、構成市町から多くの雇用が見込まれ、地域経済の活性化につながります。

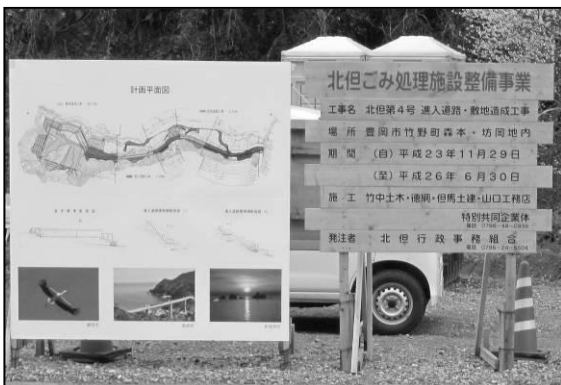
【※公設民営方式 (DBO方式) とは】

高度で複雑な最先端技術に精通した民間事業者に設計・建設・運営を一括発注することにより、民間の創意工夫を活かした事業の効率化、高いサービスの提供、ライフサイクル・コスト (建設費・維持管理及び運営費) の縮減が図れる方式。

運転管理は民間事業者が行いますが、施設そのものは公共が所有し、安全性の監視などは公共の責任において行います。

4. 着実に進む進入道路・敷地造成工事の様子

■ 本年 2 月 9 日に「北但ごみ処理施設 進入道路・敷地造成工事 安全祈願祭」が執り行われ、着実に工事を進めています。



▲ 工事看板



▲ 施工中の進入道路

お問い合わせ 北但行政事務組合
 〒668-0011 豊岡市上陰 178 番地の 1
 TEL 0796-24-5504 FAX 0796-24-6650
 メールアドレス hokutan@gaea.ocn.ne.jp